

おきなわ

目次

- ② 沖縄県社協 平成23年度事業実績・決算報告
- ⑤ 小地域福祉活動事例集の発刊 他
- ⑥ 地域活動・ボランティア団体把握調査結果
- ⑦ シリーズ活動最前線「なかよし会」
- ⑧ 沖縄県共募 平成23年度事業実績・決算報告
- ⑩ 【ほっとニュースTOPICS】
こいのぼり掲揚式、ボランティア団体活動 他
- ⑫ 平成23年度 助成金事業について
- ⑭ 【福祉人材研修センターニュース】
ケアマネ試験の案内、福祉機器展の開催 他
- ⑯ 【インフォメーション】
かりゆし美術展作品募集、寄付・寄贈者芳名 他



「平和の祈り」(平成23年度かりゆし美術展奨励賞)
作成：伊禮 初美さん(うるま市)

「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部として、
共同募金配分金を充当しております。

平成23年度 沖縄県社会福祉協議会

事業実績報告及び決算報告

県社協では、5月24日の第1回理事会と評議員会において、平成23年度事業実績報告及び決算報告を議決した。ここでは、その概要を掲載する。

実績概要

平成23年3月に発生した東日本大震災は、東北3県を中心に未曾有の被害をもたらし、その復興に向けては政府・自治体のみならず、各界各層の取組みが広がった。

本会においても、昨年3月から8月にかけて県内市町村社協の協力を得て職員派遣を実施するとともに、県内への避難者に対して種々の支援活動を行ったが、震災から1年余が経過した今なお被災地の復旧・復興は緒に付いたばかりの状況にあり、息の長い支援が求められている。

一方、本土復帰後40年の中で沖縄の社会・経済は大きく変容し、地域社会の絆や家庭の扶助機能の低下が指摘されている。また、少子高齢化の進展とともに福祉問題がますます複雑・多様化しており、公的・制度的なサービスの強化に加え、住民の支えあいや市民活動などの役割への期待は大きい。

そのような状況を踏まえて、平成23年度は次の事業に重点的に取り組んだ。

災害時における

支援体制の整備と強化

東日本大震災を受けて、被災地のボランティアセン

ター及び生活福祉資金関係業務の支援にあたるため本会及び市町村社協職員等の派遣を行った。また、市町村社協やNPO、関係機関・団体と連携のもと県内への避難者に対しての支援活動を行った。さらに、災害時におけるボランティア活動やボランティアコーディネートのある方に関する研修を実施するとともに、市町村社協における災害対応マニュアルの策定ための支援を行った。



被災地支援

コミュニティソーシャル ワーク実践の普及促進

県内の先進的なコミュニティソーシャルワーク実践をまとめた報告書や小地域

福祉活動の事例集を発行し、地域福祉活動の活性化に努めるとともに、23箇所市の市町村社協の巡回訪問を通して、組織の経営や事業推進上の支援を図った。

低所得者等への支援

低所得世帯等の自立更生を目指して、総合支援資金、緊急小口資金等の生活福祉資金貸付を進めるとともに、市町村社協の相談体制の整備と償還活動の強化を図った。

福祉人材の就労及び 定着の支援

社会福祉施設・法人の安定的な事業展開とサービスの向上を目指して、福祉人材無料職業紹介事業や、福祉施設種別協議会及び福祉人材研修センター等による従事者研修事業を展開した。

特に、福祉・介護マッチング支援事業においては、各事業所の職場内研修を支援する「講師派遣事業」で96回の講師を派遣するとともに、「OJTハンドブック（沖縄版）」を作成・配布し、

福祉人材の育成・定着の支援を図った。

福祉用具展示会の開催

在宅の介護者をはじめ介護サービス事業者や地域包括支援センター等に対して新しい福祉用具の情報を発信するため、県内外の福祉用具メーカー39社の参加による福祉用具展示会を開催した。

高齢者のスポーツ・ 文化活動の推進

高齢者の明るく活力あふれる長寿社会づくりを目的に開催した沖縄ねりんピックには、テニスや囲碁等のスポーツ・文化19競技に約2,220人が出場し、絵画、彫刻等の美術展6部



OJTハンドブック

門には、前年を大きく上回る245点が出品されるなど、シニアのスポーツ・芸術活動の振興に寄与した。



かりゆしねんりんピックくまもと大会開会式

高齢者リーダー養成

かりゆし長寿大学校では、地域文化学科・健康福祉学科・生活環境学科の3学科において体系的な学習の場を提供することにより、生きがいと健康の保持・増進及び地域活動の担い手の養成に努めた。さらに、卒業生の地域活動へつなげるシステムの基盤作りができた。

権利擁護活動の推進

判断能力が不十分な高齢者や障害者等の福祉サービス利用援助、金銭管理などを行う日常生活自立支援事業

業は利用者が増加する一方、利用待機者も多く、需要に応えきれない状況が続いている。基幹的社協の円滑な事業実施を図るため、業務マニュアルの作成に取り組んだ。

苦情解決による適切な福祉サービスの推進

福祉サービスの現場における利用者の苦情に適切な対応を図ることができるよう、福祉サービス運営適正化委員会において、事業所ごとの苦情解決体制の整備を進めるとともに、事業所内で解決できなかった事案に関しては、調査と助言を行った。

福祉サービスを必要とする矯正施設退所者への支援

高齢者、障害者等の矯正施設退所者の社会復帰と再犯防止対策に資することを目的として、退所者の受入れ施設等のあつせん及び福祉サービス等に係る申請の支援等を進めるとともに、退所後の生活の安定化を図るため、関係機関との連携による継続的な支援に努めた。

決算報告

県社協の事業執行に係る主な財源は、会費、寄付金、県補助金・受託金、助成金、事業収入、種別協議会負担金等及び収益事業による収入で、これらの財源から事業費、事務費、人件費等を充当している。

昨年度は、介護サービス情報公表センター運営事業の返還をはじめ2事業減となったが、沖縄県被災者支援見舞金給付受託事業をはじめとする4事業が新たに追加となり、全53事業を実施した。また、福祉・介護マツチング支援受託事業など8事業が昨年度で終了となった。

※紙面の都合により、決算額（大区分）のみの掲載とさせていただきます。
なお、平成23年度財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書等は、沖縄県社会福祉協議会において閲覧することができます。

平成23年度 沖縄県社会福祉協議会決算報告

一般会計(単位:円)

資金収支計算書				事業活動収支計算書				貸借対照表			
支 出		収 入		支 出		収 入		借 方		貸 方	
経常支出	606,255,932	経常収入	612,576,724	事業活動支出	615,443,656	事業活動収入	595,214,430	流動資産	112,501,637	流動負債	44,148,005
施設整備等支出	0	施設整備等収入	0	事業活動外支出	29,091,967	事業活動外収入	64,197,068	固定資産	1,928,472,801	固定負債	244,039,078
財務支出	18,426,140	財務収入	24,823,160	特別支出	0	特別収入	0			基本金	1,000,000
予備費	0									基金	1,493,116,213
		前期末支払資金残高	65,357,820	その他の積立金積立額	3,494,000	前期繰越活動収支差額	49,553,549			国庫補助金等特別積立金	487,235
当期末支払資金残高	78,075,632			次期繰越活動収支差額	60,935,424	その他の積立金取崩額	0			その他の積立金	197,248,483
計	702,757,704	計	702,757,704	計	708,965,047	計	708,965,047	計	2,040,974,438	計	2,040,974,438

収益事業特別会計(単位:円)

資金収支計算書				事業活動収支計算書				貸借対照表			
支 出		収 入		支 出		収 入		借 方		貸 方	
経常支出	94,380,971	経常収入	99,041,434	事業活動支出	95,909,623	事業活動収入	102,912,281	流動資産	33,211,623	流動負債	2,676,380
施設整備等支出	0	施設整備等収入	0	事業活動外支出	3,000,000	事業活動外収入	108,573	固定資産	161,912,796	固定負債	3,486,846
財務支出	2,906,450	財務収入	0	特別支出	0	特別収入	0			基本金	0
予備費	0									基金	0
		前期末支払資金残高	29,057,230	その他の積立金積立額	2,540,000	前期繰越活動収支差額	98,940,712			元入金	40,765,033
当期末支払資金残高	30,811,243			次期繰越活動収支差額	100,511,943	その他の積立金取崩額	0			その他の積立金	47,684,217
計	128,098,664	計	128,098,664	計	201,961,566	計	201,961,566	計	195,124,419	計	195,124,419

※(社会福祉法人会計基準適用)

生活福祉資金特別会計(単位:円)

資金収支計算書			
支 出		収 入	
経常支出	432,039,704	経常収入	420,306,472
施設整備等支出	870	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
予備費	0	前期末支払資金残高	2,972,070,861
当期末支払資金残高	2,960,336,759		
計	3,392,377,333	計	3,392,377,333

事業活動収支計算書			
支 出		収 入	
事業活動支出	31,611,810	事業活動収入	46,180,633
事業活動外支出	34,395,053	事業活動外収入	18,505,031
特別支出	0	特別収入	0
その他の積立金積立額	714,508	前期繰越活動収支差額	△250,129,782
次期繰越活動収支差額	△252,165,489	その他の積立金取崩額	0
計	△185,444,118	計	△185,444,118

貸借対照表			
借 方		貸 方	
流動資産	2,960,601,501	流動負債	264,742
固定資産	2,864,681,111	固定負債	0
		国庫補助金等特別積立金	5,672,754,968
		その他の積立金	404,428,391
		次期繰越活動収支差額	△252,165,489
計	5,825,282,612	計	5,825,282,612

要保護世帯向け長期生活支援資金特別会計(単位:円)

資金収支計算書			
支 出		収 入	
経常支出	12,430,025	経常収入	824,898
施設整備等支出	0	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
予備費	0	前期末支払資金残高	172,717,716
当期末支払資金残高	161,112,589		
計	173,542,614	計	173,542,614

事業活動収支計算書			
支 出		収 入	
事業活動支出	0	事業活動収入	0
事業活動外支出	824,898	事業活動外収入	824,898
特別支出	0	特別収入	0
その他の積立金積立額	0	前期繰越活動収支差額	9,716
次期繰越活動収支差額	9,716	その他の積立金取崩額	0
計	834,614	計	834,614

貸借対照表			
借 方		貸 方	
流動資産	161,112,589	流動負債	0
固定資産	38,897,127	固定負債	0
		国庫補助金等特別積立金	200,000,000
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額	9,716
計	200,009,716	計	200,009,716

生活福祉資金貸付事務費特別会計(単位:円)

資金収支計算書			
支 出		収 入	
経常支出	111,004,196	経常収入	114,763,601
施設整備等支出	0	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
予備費	0	前期末支払資金残高	547,067
当期末支払資金残高	4,306,472		
計	115,310,668	計	115,310,668

事業活動収支計算書			
支 出		収 入	
事業活動支出	112,737,180	事業活動収入	80,197,768
事業活動外支出	1,690,620	事業活動外収入	35,424,601
特別支出	3	特別収入	0
その他の積立金積立額	0	前期繰越活動収支差額	2,066,519
次期繰越活動収支差額	3,261,085	その他の積立金取崩額	0
計	117,688,888	計	117,688,888

貸借対照表			
借 方		貸 方	
流動資産	7,497,201	流動負債	4,763,729
固定資産	2,173,588	固定負債	0
		国庫補助金等特別積立金	1,645,975
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額	3,261,085
計	9,670,789	計	9,670,789

介護福祉士等修学資金特別会計資金収支計算書(単位:円)

資金収支計算書			
支 出		収 入	
経常支出	52,564,857	経常収入	2,113,198
施設整備等支出	0	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
予備費	0	前期末支払資金残高	171,641,523
当期末支払資金残高	121,189,864		
計	173,754,721	計	173,754,721

事業活動収支計算書			
支 出		収 入	
事業活動支出	3,287,606	事業活動収入	322,749
事業活動外支出	0	事業活動外収入	660,798
特別支出	560,000	特別収入	0
その他の積立金積立額	0	前期繰越活動収支差額	246,763,823
次期繰越活動収支差額	243,899,764	その他の積立金取崩額	0
計	247,747,370	計	247,747,370

貸借対照表			
借 方		貸 方	
流動資産	121,365,804	流動負債	175,940
固定資産	122,947,151	固定負債	0
		国庫補助金等特別積立金	237,251
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額	243,899,764
計	244,312,955	計	244,312,955

※(生活福祉資金会計準則適用)

臨時特例つなぎ資金特別会計

(単位:円)

貸借対照表			
借 方		貸 方	
流動資産	12,761,158	流動負債	206,640
固定資産	17,998,670	固定負債	54,361,000
		基 金	17,998,670
		積立金	△ 54,361,000
		繰越金	12,554,518
計	30,759,828	計	30,759,828

資金収支計算書			
支 出		収 入	
経常支出	11,313,929	経常収入	5,641,040
施設整備等支出	0	施設整備等収入	0
財務支出	0	財務収入	0
予備費	0	前期末支払資金残高	18,227,407
当期末支払資金残高	12,554,518		
計	23,868,447	計	23,868,447

※(旧生活福祉資金会計準則適用)

総括財産目録

(単位:円)

貸 借 対 照 表			
I 資産の部	金 額	II 負債の部	金 額
流動資産	3,409,051,513	流動負債	52,235,436
固定資産	5,137,083,244	固定負債	301,886,924
資産合計	8,546,134,757	差引純資産	8,192,012,397

社会福祉振興基金助成事業

「地域福祉活動モデル事業助成」募集

県社協では、社会福祉振興基金助成事業の新たな試みとして、「地域福祉活動モデル事業助成」を秋頃募集する予定となっている。

この助成事業は、公の制度では対応が難しい地域のニーズや課題解決に向けた先駆的、開拓的な事業に取り組み民間福祉団体やボランティアグループ等を支援することで、スムーズな事業実施及び地域活動等の普及・拡大を図ることを目的としている。

公的補助や公費委託を受けている事業、主財源をほかの資金制度で充当する事業は助成対象外となる。

助成事業の実施期間は、平成25年度から26年度の2年間で、1件あたりの助成金額は助成対象経費の80%以内で100万円を限度とする。

助成期間の2年間を終了した後も継続して事業を実施できることが要件となっている。

募集期間は9月3日から

10月31日（当日消印有効）

を予定しており、詳しい募集要項をホームページで案内する予定。

【問い合わせ先】

県社協いきいき長寿センター
☎098(887)1344

ホームページ

<http://www.okishakyo.or.jp/kiki/>

☆ 提出書類 ☆

1. 助成事業の実施計画及び資金計画
(別紙様式はホームページより取得可能)
2. 前年度収支決算書及び実績報告書
3. 当該年度収支予算書及び事業計画書
4. 団体等の概要（パンフレット等でも可能）
5. 見積書及び関係資料
6. その他本会が必要とする資料

小地域福祉活動

実践事例集の発刊

人と人、地域の「つながり」や「絆」の大切さが再認識される中、身近な生活圏における住民同士の「助け合い」による小地域福祉活動が注目されている。

県社協では、県内各地の様々な小地域福祉活動の普及促進を図るとともに、社協活動をPRすることを目的に「小地域福祉活動実践事例集」を作成・発刊した。

同事例集は、平成23年度から同27年度までの4年をかけて、北部、中部、南部、宮古・八重山・本島周辺離島の地区単位で活動事例を掲載していく予定で、今回南部地区の8市町村社協の実践事例を掲載している。



小地域福祉活動実践事例集

募集中

生活支援員になりませんか

(日常生活自立支援事業)

高齢者や障害のある方で自分で判断することが困難な方々の市役所や銀行での手続きや支払いのお手伝いを行います。



※お住いの市町村社協にご相談ください。

お仕事の主な内容

具体的な活動は以下のようなものです。

- ・公共料金や病院代の支払いを本人と一緒に（または、代わりに）に行う。
- ・役所や郵便局などで行う手続きの説明や、本人が行う手続きに付き添う。
- ・本人とのコミュニケーションを通じて、相談や要望を聞く。
- ・相談、要望に応じて、本人が自分で判断できるようなアドバイス・情報提供をする。

- 月数回から。
- 毎回1時間～2時間程度のお手伝いです。
- 社会福祉協議会の職員が活動のサポートをします。
- 資格等は特に必要ありません。



掲載事例はいずれも、地域の特色や課題を踏まえた活動となっている。同事例集の問い合わせは、県社協・地域福祉部まで。（冊数に限りがあります。）

【問い合わせ先】

県社協・地域福祉部
☎098(887)2000

表1. 活動分野別集計

活動分野	団体数	比率
福祉・医療	252	59%
子ども・子育て	44	10%
環境保全	29	7%
国際理解・交流	3	1%
文化・芸術・スポーツ	56	13%
その他	38	9%
支援機関 (ボランティア連絡会・NPOセンターなど)	4	1%
合 計	426	100%

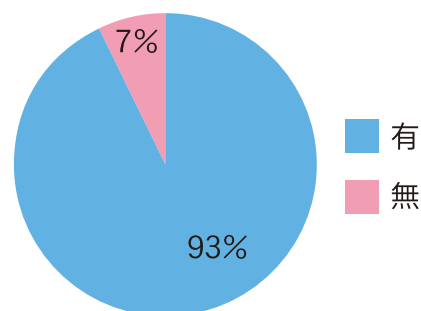


図1. 社協登録の有無

県社協では、県内の地域・ボランティア活動の促進と活性化を目的に、昨年11月～12月の間、市町村社協が把握しているボランティア団体について調査を実施した。

この調査では、団体数が426団体、活動者数17377人おり、そのうち252団体(59%)と約半数が「福祉・医療」分野で活動を

していることが分かった(表1)。また、社協登録団体が396団体(93%)と非常に多く、市町村社協と団体の関係は非常に密である。さらに、活動の周知を目的としたホームページ掲載依頼に了承した団体が387団体(91%)あったことから、多くの団体でさらなる団体活動の活性化や活動者増を望んでいるようだ。

県社協では、今回の調査結果を基に、今後の地域・ボランティア活動の推進方

地域活動・ボランティア団体 把握調査を実施

【ホームページ】

沖縄県社会福祉協議会

ボランティア・市民活動支援センター

URL : <http://volunchu.net/>

(ボランチュねっと)

検索

県社協と沖縄県市町村社会福祉協議会連絡協議会(以下「県社連」)は、6月1日に県総合福祉センターにおいて、県社連総会と市町村社会福祉協議会会長・事務局長等研究協議会を開催し、70名が参加した。

県社連総会では、平成23年度事業報告、24年度事業計画・予算(案)を審議した。

研究協議会では、県社協の高良正樹地域福祉部長が「平成24年度県社協・地域福祉部関連の重点事業」と題して基調報告し、小地域福祉活動の促進を図るとともに、コミュニケーションソーシャルワーク実践の普及、災害時相互応援協定の締結

今後の社協経営・事業展開の あり方を考える

〈県市町村社連総会等の開催〉



は協経営の変化に対応した人事労務管理のあり方

や災害対応マニュアル策定等市町村社協への理解と協力を求めた。

社会保険労務士の江尻育弘氏は、「社協経営の変化に対応した人事労務のあり方」をテーマに、今後予定される人事労務関係法改正の動向と実務的な対応及び介護事業等の縮小(撤退)等に伴う適切な雇用管理について講話し、特にメンタル疾患の対応方法や、「有期労働契約」の期間の定めのない労働契約への転換における留意点等、事例を踏まえて解説した。

また、県社協・総務企画部の山入端涼主任が、「新会計基準の導入に伴う社協モデル経理規程(案)」と題して、新会計基準移行に向けたスケジュール等を説明した。





料理の下ごしらえをするなかよし会

竹富町小浜島のボランティア団体「なかよし会」は、10年前に現在会長を務める金城聖吉氏が男も料理をしようと島の男性に呼びかけたのがきっかけで活動が始まった。会員は現在16名で、85歳以上の男性が入会できる。食生活改善グループの協力を得ながら料理教室を実施している。この教室は月に1回で、古くからの習慣のために普段台所に立つことのない男性が、エプロンを着けて料理する姿はとても新鮮だ。また、米を研いだり、野菜を切るなど各自役割を決めて支度する方法は、この島の男性に合わせたユニークな取組

みである。
この教室で学んだ技術は自宅で活かされ、妻にふるまったり、一緒に協働で調理するなど楽しみにつながっている。

伝統を伝えたい

料理のほかに手遊びや折り紙をするなど、特に地域の文化のことも考えてみんなでゆんたくすることが、生きがいづくりにつながっている。会員の仲盛鎮夫氏（93歳）は、男性同士で「首里子ゆんた」や「ちんだ入りじらま」などの歌の掛け合いをしながら農業をしていた頃を振り返り、耳で覚えた昔ながらの歌を披露した。後輩に受け継いでもらおうと参加を呼びかけているが、農業が中心のこの島では、90歳でも現役で働いている男性が多く、後輩との交流の機会が少ない。そのため、いつ後輩が来ても教えられるように少しずつ楽譜を作成している。
なかよし会は文化伝承活動を通して、新たな高齢者の生きがいづくりに取り組んでいる。

ボランティアグループ

なかよし会（代表／金城聖吉）

【連絡先】

竹富町社会福祉協議会

☎0980(84)3302

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランで、死亡1,400万円、入院7,000円、通院4,100円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国200万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索



特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間 保険料	基本タイプ	Aプラン	280円	Bプラン	420円
	天災タイプ	Aプラン	490円	Bプラン	720円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

沖縄県共同募金会 事業実績・決算報告

県共募では5月25日の第1回理事会と評議員会において、平成23年度事業実績報告及び決算報告を議決した。ここではその概要を掲載し、詳細は本会およびホームページで公開する。

3・11東日本大震災の義援金募集を実施する中で、2億2575万8千円の目標額を掲げて展開した共同募金運動は、義援金募集の影響で前年度の実績額を大きく落ち込むことが懸念されたが、30市町村が前年度実績を上回り、平成10年度から下がり続けていた実績額に歯止めがかった。

この理由は、震災を目の当たりにした県民が共同募金の本旨である地域住民の「たすけあい運動」の重要性の再確認したこと、被災地の復旧・復興のための災害ボランティアセンターの立上げに災害等準備金が活用されていることが募金奉仕者から寄付者へ伝わったこと、併せて60年続いている共同募金運動に対する県民の信頼を得ていることが挙げられる。



①共同募金総額 (単位：円)

区分	目標額	実績額	達成率
一般募金	225,758,000	188,097,448	83.3%
事務局受付・その他	—	3,293,705	—
合 計	225,758,000	191,391,153	84.8%

②共同募金配分内訳 (単位：円)

配分区分	配分計画	配分額	配分率
市町村社協配分	140,758,000	106,797,448	55.8%
福祉施設団体配分	30,000,000	28,242,705	14.7%
災害等準備金	8,970,000	7,500,000	3.9%
(支会分会)交付金	12,000,000	12,000,000	6.3%
次年度運動積立金	16,000,000	16,000,000	8.3%
本部経理区分繰入	18,030,000	20,851,000	10.9%
合 計	225,758,000	191,391,153	100.0%



©中央共同募金会

③歳末義援金配分状況（未法人・小規模作業所等） (単位：円)

No.	区 分	団体数	配分金額
1	特定非営利活動法人	34	3,002,000
2	小規模作業所	9	1,199,000
3	未法人・任意団体	14	833,000
4	児童養護施設	7	480,000
	合 計	64	5,514,000

③歳末義援金配分状況（未法人・小規模作業所等） (単位：円)

施 設 種 別	施設数	ケーキ数	チキン数	飲料ケース
精神障害者社会復帰施設	3	10		
児童福祉施設	16	108	640	
障害福祉サービス事業	108	298		
知的障害者援護施設	14	78		
身体障害者療護施設	4	27		
婦人・母子関連施設	2	39		
社会福祉協議会（南部地区）	7			115
合 計	154	560	640	115

『地域福祉活動支援のお知らせ』

平成25年度事業 公募助成の案内

- 募集対象
地域で福祉活動を実施している住民団体やボランティアグループの資金助成を目的とし、自主性・非営利・公開を原則1団体、1件30万円
- 助成限度額
7月2日～10月31日（土日・祝祭日は除く）所定の応募用紙に必要事項等を記入の上文書にて沖縄県共同募金会へ提出（郵送でも可）
- 募集期間
問い合わせ先
沖縄県共同募金会事務局
☎098(882)4353
ホームページでも紹介しております（応募様式添付）
<http://www.okinawakyo.or.jp/html/kyoubo/>

平成23年度共同募金による広域福祉施設団体配分一覧表

(単位：千円)

No.	種別	法人・施設団体名	配分額	事業内容	活動範囲
1	社会福祉	沖縄県社会福祉協議会	7,484	沖縄県社会福祉大会 他 6 件	県域
2	母子福祉	沖縄県母子寡婦福祉連合会	1,920	母と子の楽しい運動会・母と子の集い	県域
3	身障福祉	沖縄県身体障害者福祉協会	1,974	第 47 回沖縄県身障者福祉大会、他 2 件	県域
4	身障福祉	沖縄県社会福祉事業団	1,500	車両整備事業（車いす対応車）	那覇市
5	身障福祉	沖縄フェニックス	800	第 25 回日本車椅子ツインバスケットボール選手権	県域
6	身障福祉	日本てんかん協会 沖縄県支部	350	全国総会及び支部代表者会議派遣、他 2 件	県域
7	身障福祉	沖縄ハリケーンズ	713	第 14 回ウィルチェアーラグビー日本選手権	県域
8	精神障害福祉	沖縄県精神障害者福祉会連合会	632	精神保健福祉促進家族大会開催事業	県域
9	社会福祉	与那国町社会福祉協議会	1,500	車両整備事業（車いす対応車）	与那国町
10	身障福祉	むりぶし	330	環境整備事業（天吊式ハンガーシェルフ）	石垣市
11	身障福祉	全国パーキンソン病友の会	254	第 36 回全国パーキンソン病友の会全国大会・総会	県域
12	身障福祉	沖縄県障害者卓球協会	328	第 33 回九州障害者卓球選手権大会	県域
13	精神障害福祉	沖縄CAPセンター	400	人材育成のための実践研修事業	那覇市
14	身障福祉	全国心臓病のこどもを守る会	325	療育キャンプ事業	県域
15	身障福祉	沖縄県障害者スポーツ連絡協議会	200	公認初級障害者スポーツ指導員養成講習会	県域
16	社会福祉	沖縄県民生委員児童委員協議会	1,051	小規模離島出前研修会講師派遣、他 2 件	県域
17	身障福祉	障がい者支援センターびゅあ	2,000	車両整備事業（リフト車）	糸満市
18	身障福祉	沖縄肢体不自由児協会	300	第 33 回西日本重症心身障害児施設協議会総会	県域
19	身障福祉	沖縄盲ろう者友の会	53	全国盲ろう者団体代表者会議	県域
20	児童福祉	豊友会	1,700	車両整備事業（普通乗用車）	与那原町
21	社会福祉	石垣市社会福祉協議会	1,500	車両整備事業（普通乗用車）	石垣市
22	身障福祉	そら	2,800	車両整備事業（リフト車）	浦添市
23	精神障害福祉	沖縄タレントリハビリテーションセンター	128	茨城タレント 20 周年記念フォーラム参加事業	宜野湾市
合 計			28,242		

平成19年度災害等準備金配分一覧表

(単位：千円)

No.	種別	法人・施設団体名	配分額	事業内容	活動範囲
1	身障福祉	沖縄県身体障害者福祉協会	642	脱気・印字措置付きシール機購入	南風原町

平成23年度決算報告

(単位：千円)

(単位：千円)

資金収支計算書				貸借対照表			
借 方		貸 方		借 方		貸 方	
経常支出	424,535	経常収入	419,875	流動資産	215,877	流動負債	158,627
施設整備等支出	0	施設整備等収入	0	固定資産	88,710	固定負債	19,249
財務支出	1,562	財務収入	0			基本金	3,000
予備費	0	前期末支払資金残高	84,489			その他の積立金	62,460
当期末支払資金残高	78,267					次期繰越活動収支差額	61,251
計	504,364	計	504,364	計	304,587	計	304,587

「こいのぼりのように 元気で伸び伸びと こいのぼり掲揚式」

県社協では、4月26日に
沖縄県総合福祉センターに
おいて「こいのぼり掲揚式」
を開催した。児童の健やか
な成長と幸せを願うことを
目的に開催したこの掲揚式
に、近隣の保育園や高齢者
福祉施設など約200人が
参加した。

はじめに、県社協の山内



おゆうぎを披露する園児



みんなでこいのぼりを掲揚



良章事務局長が「こいのぼ
りのように元気で伸び伸び
と育つように」とあいさつ
した。その後、園児らがお
ゆうぎを披露したり、首里
第3民児協会長の小笠原氏
が地域の子どもたちの成長
を願ってあいさつをするな
ど会場を盛り上げた。

最後に、センター内のポ

ールにこいのぼりを歌とと
もに掲揚した後、園児や参
加した児童にお菓子と交通
安全ストラップ（ケロくん）
を配布した。

笑顔の絶えない団体 うふだき会

ボランティア団体「うふ
たき会」は、機織活動など
を通して竹富町小浜島の女
性を支援する団体で、80歳
になると入会できる。その
入会の方法がユニークで、
女性は化粧し華やかなドレ
スを着て夫役を務めるボラ
ンティアとともにみんなの
前に登場するのだ。この年
代は戦後間もないころ、ド
レスのような花嫁衣裳を着
ることなく結婚式を挙げて
いる女性が多く、この入会
式を楽しみにしている。

取材の時、ある会員は「男
性が中心となつて行う行事
が多い小浜島では女性は控
えめにすることが習わしと
なっている」と話す。行
事で口数少なく大人しくし
ている様子は想像つかない
ほどかくしゃくとしている
。その勢いはおしゃべり
にとどまらず、ばあちゃん
合唱団を結成し地域の行事
に参加したり、東京へ進出
するなど活動も積極的だ。



カチャーシーを踊るうふたき会

笑顔の絶えないうふたき
会は今年も県外での公演を
計画しており、高齢者の健
康維持と生きがいづくりに
取り組んでいる。

色とりどりの花で美しく かりゆしグリーンボランティア

県総合福祉センターに
は、色とりどりの花を咲か
せたプランターが数多くあ
り、同センターで働く人達
や、研修で訪れる来館者の
心を和ませている。このプ
ランターの設置と維持管理
を行っているのが、かりゆ
し長寿大学校を卒業した同
窓生らで構成される「かり
ゆしグリーンボランティア」
だ。



みんなで緑化活動

県社協が、これまでセン
ターの道路沿いの緑化活動
をしていた同団体に駐車場
のフェンス沿いや結プラザ
の園芸スペースなどセンタ
ー内の緑化活動への協力を
依頼したところ、快く引き
受けていただいた。

園芸スペースが増えたこ
とで毎回の水やりや土の入
れ替え、肥料やりなど、植
えつけた花の維持管理は大
変だが、仲間と顔を合わせ
てユンタクに花を咲かせる
のもまたひとつの楽しみと
なっているようだ。



かりゆしグリーンボランティア

14期生が中心となって始めた活動も今年で7年目を迎え、現在は正会員・賛助会員合わせて187名と年々会員数も増えており、昨年11月には長寿社会開発センター主催の「地域活動推進者中央研修会」で活動状況の発表を行うなど団体は、高齢者の地域活動の模範となっている。

今後の活動について、会の代表である田村守氏（71歳）は「将来的には、県総合福祉センター沿線を花でいっぱいにし、地域の人々を交えて活動を行っていきづくりへ期待を膨らませている。

「ご存知ですか!?」

「民生委員・児童委員」

少子高齢化の進展は、これまでの福祉制度では対応できない様々な生活課題を生み出しており、公的な福祉サービスの充実はもとより、地域住民による「支え合い」を再構築していく取り組みが求められている。

特に、高齢者（世帯や障がい者、子育て家庭における、社会的孤立を背景とする課題への対応は急務となっており、さらに最近の雇用情勢の悪化等による失業や生活不安の広がりにより、生活困窮家庭への支援が重要な課題となっている。

こうした様々な問題に対して、民生委員・児童委員は、見守りや訪問活動を通して、地域住民の変化を見逃さずに生活課題やニーズを発見し、必要な行政施策やサービスにつなげ、誰もが「安全」「安心」に生活することのできる地域社会の実現に向け、地域に密着した取り組みを展開している。

そのためには、個人情報

の適切な提供や災害時要援護者支援について関係機関との連携が不可欠であり、各市町村及び社会福祉協議会をはじめ、関係機関・団体との連携のもと、資質向上や活動しやすい環境づくり、組織活動の活性化に向けて積極的に取り組んでいる。

現在、県内には約2,100名が配置されている。民生委員・児童委員は厚生労働大臣から委嘱を受け「守秘義務」を遵守しながら、地域住民から日々の「暮らし」や「生活」に直結する事らについての相談を受け、福祉サービスの紹介・斡旋をはじめ、必要に応じて関係機関への「つなぎ役」としての役割を担っている。

ご自分であるいはご家族で解決できない悩み事などがありましたら、お近くの民生委員・児童委員へお気軽に声かけください。

【問い合わせ先】

沖縄県民生委員児童委員協議会

☎098(882)5813



子どもと一緒にお仕事探しませんか?? キッズコーナー設置しました♪



求職中のママやパパたちがゆつくり求人閲覧・求職相談ができるように、キッズコーナーを設置致しました。おもちゃ、絵本、ハイローチェアを準備しておりますので、お子様と一緒にお気軽にお越しください。

利用時間 ※予約不要

平日 9:00～17:00

(土・日・祝祭日休み)

沖縄県福祉人材研修センター

那覇市首里石嶺町 4-373-1

沖縄県総合福祉センター 東棟 305

☎098(882)5703



平成23年度 助成金事業の報告について

県社協では、沖縄県の地域福祉基金の果実を財源とした補助金による地域福祉基金助成事業と社会福祉振興基金の果実による社会福祉振興基金助成事業により民間福祉団体やNPO等財政基盤が脆弱な小規模団体に対し助成を行い、福祉活動の育成強化を図っています。

平成23年度の実績は、地域福祉基金助成事業が19団体22事業に778万9千円、社会福祉振興基金助成事業では38団体47事業1,286万9千円の助成を行い、民間福祉団体等の福祉活動を支援しました。

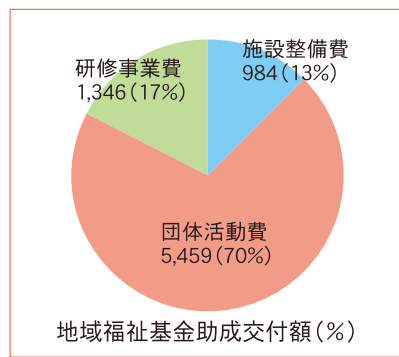
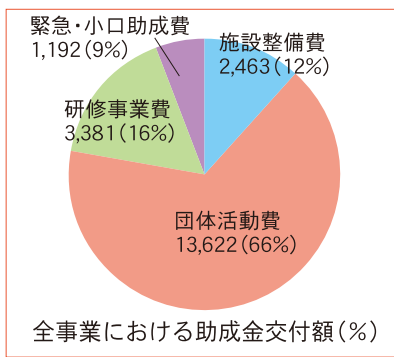
なお、平成25年度に向けた助成の申請は終了しましたが、自然災害による設備の修繕や法律の改正等で急遽実施しなければならなくなった研修会等に対しては、緊急・小口助成で30万

円を上限とした当該年度の助成を行っていますので、ご相談ください。

【問い合わせ先】

県社協いきいき長寿センター

☎ 098(887)1344



平成23年度地域福祉基金助成金交付決定一覧表

地域福祉基金（助成金総額 7,789,000 円）

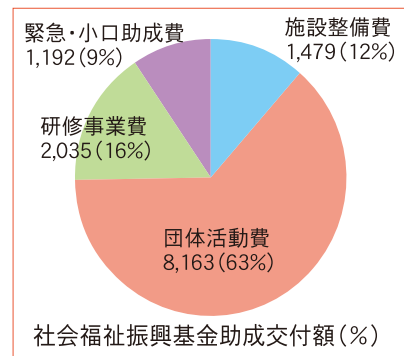
実施団体名	事業名	事業費総額	交付額
特定非営利活動法人 こども医療支援わらびの会	病院ボランティア事業	363	224
一般社団法人 沖縄県腎臓病協議会	全国腎臓病協議会40周年記念全国大会派遣事業	506	165
沖縄県肢体不自由児・父母の会連合会	第44回全国肢体不自由児・者連合会全国(東京)大会 全肢連50周年記念式典	952	197
沖縄県車椅子陸上クラブ タートルズ	第31回大分国際車椅子マラソン大会	707	285
沖縄県障害者卓球協会	第32回九州障害者卓球選手権(沖縄)大会開催事業	991	707
沖縄県聴覚障害児を持つ親の会	夏季親子宿泊研修会開催事業	1,367	850
	全国聴覚障害学生の集い派遣事業	287	160
沖縄県聴覚障害者協会	県内手話指導者育成講座開催事業	470	288
沖縄県保育士会	保育講演会(第45回沖縄県保育士会研究大会)	604	400
沖縄県民生委員児童委員協議会	平成23年度全国民生委員児童委員リーダー研修会派遣事業	447	231
	平成23年度全国民生委員指導者研修会派遣事業	204	90
沖縄県脊髄損傷者連合会	障がい者理解推進プログラム事業	578	418
社会福祉法人 沖縄県視覚障害者福祉協会	情報提供事業	1472	850
社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会	第5回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会派遣事業	366	207
社団法人 沖縄県母子寡婦福祉連合会	車両整備事業	900	604
全国心臓病の子どもを守る会 沖縄県支部	九州ブロック研修会(宮崎県)	106	60
全国手話通訳問題研究会 沖縄支部	第59回全国ろうあ者大会 in 佐賀	86	43
	全国手話通訳問題研究会離島学習会(宮古島市)	88	51
特定非営利活動法人 おきなわCAPセンター	設立15周年記念・15才の君へ「CAPノート」配布事業	660	369
特定非営利活動法人 障がい者支援センターぴゅあ	屋根付駐車場整備事業	850	448
特定非営利活動法人 さぼーと・なは	施設整備事業	1,313	536
沖縄フェニックス	厚生労働大臣杯第25回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会派遣	901	606
19団体	22事業	14,218	7,789

平成23年度社会福祉振興基金助成金交付決定一覧表

社会福祉振興基金（助成金総額 11,677,000 円）

実施団体名	事業名	事業費総額	交付額	実施団体名	事業名	事業費総額	交付額
一般社団法人 沖縄県腎臓病協議会	青年研修会派遣事業	199	98	社団法人 沖縄県 介護福祉士会	社団法人日本介護福祉士会生涯 研修制度における機器整備事業	337	242
沖縄県共同作業所連絡会	第11回沖作連スポレク大会	702	550	社団法人 沖縄県 私立保育園連盟	第13回私保連まつり	2802	550
沖縄県肢体不自由児者・ 父母の会連合会	療育キャンプ	717	506	社団法人 沖縄県 手をつなぐ育成会	第51回九州地区手をつなぐ育成会 (福岡市)大会参加者派遣事業	566	352
沖縄県障害者スポーツ 指導者連絡協議会	公認初級障害者スポーツ 指導者養成講習会	284	189		第60回全日本手をつなぐ育成会 全国(東京)大会参加者派遣事業	477	293
沖縄県身体障害者 陸上協議会	第23回全国車いす駅伝 競走大会	357	222	社団法人 沖縄県 母子寡婦福祉連合会	沖縄県母子寡婦福祉大会	950	500
沖縄県聴覚障害児を 持つ親の会	全国親の会教育福祉 研修会派遣事業	100	57		機関誌発行(県沖母連だより)	350	234
	秋季講演会開催事業	233	143	全国心臓病の子ども を守る会沖縄県支部	療育キャンプ (ユイinchホテル南城)	404	263
沖縄県聴覚障害者協会	第28回耳の日記念大会 開催事業	713	345	特定非営利活動法人 うていーらみや	わらべうたフェスタ 2011	209	158
	第8回聴覚障害教育 フォーラムin沖縄	327	133	社団法人 日本オスト ミー協会沖縄県支部	オストメイトピア・サポーター 育成研修派遣事業	244	147
沖縄県民生委員児童 委員協議会	平成23年度小規模離島出前 研修会講師等派遣事業	96	66	全国パーキンソン病 友の会沖縄県支部	第35回全国パーキンソン病 友の会全国大会・総会	352	219
沖縄県友声会	食道発声特別研修会開催 事業	557	420	全国手話通訳問題 研究会沖縄支部	全通研学校派遣(国内3ヶ所)	111	62
沖縄県脊髄損傷者連合会	脊髄損傷者相談会事業	484	380		全国手話通訳問題研究 集会派遣(大分県)	147	80
沖縄盲ろう者友の会	全国盲ろう者団体ニュー リーダー育成研修会	61	35	特定非営利活動法人 べあ・さぽーと	レクリエーション備品等 の整備事業(卓球セット)	147	95
社会福祉法人 沖縄県 視覚障害者福祉協会	第39回九州視覚障害者サウンド テーブルテニス大会派遣事業(熊本県)	431	259	特定非営利活動法人 やえせ 就労支援センター野の花	備品設置事業	252	187
	第65回九州盲人福祉大会 派遣事業(佐賀県)	403	184	特定非営利活動法人 沖縄県 自立生活センターイルカ	自立生活プログラム講座	888	470
	第43回九州盲女性指導者 研修大会派遣事業(福岡市)	169	90	社会福祉法人 みやこ福祉会	機器・備品の整備事業	525	319
	第23回九州盲青年研修大会 派遣事業(長崎県)	134	71	社会福祉法人 幸福社会	備品購入事業	989	608
	第64回全国盲人福祉大会 派遣事業(島根県)	164	85	S E A S I R S	第32回朝日九州車いすバスケット ボール選手権大会派遣	607	470
	第21回ぐんま県民マラソン 大会派遣事業(群馬県)	617	379	沖縄ハリケーンズ	第13回ウィルチェアーラグビー 日本選手権大会	871	676
社会福祉法人 沖縄県 身体障害者福祉協会	人材育成研修会派遣事業	427	262	特定非営利活動法人 のぞみの里	車両整備	1280	1,008
社会福祉法人 喜寿会	地上デジタル対応液晶 テレビ購入事業	462	270	31団体	41事業	20,145	11,677

緊急・小口助成費



実施団体名	事業名	事業費総額	交付額
沖縄県ベタंक協会	沖縄県ベタंक競技の指導員・審判員育成事業	278	167
チーム沖縄	イタリア研修報告・勉強会	160	116
NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい	パソコン購入事業	259	190
沖縄ダルクリハビリテーションセンター	沖縄ダルク17周年フォーラム開催事業	424	211
NPO法人やえせ 就労支援センター野の花	備品設置事業(コンテナ)	262	209
沖縄フェニックス	屋内車椅子スポーツ振興に伴う緊急機器整備事業	360	220
ゆい作業所	備品購入事業(業務用フードプロセッサー)	121	79
7 団体	7 事業	1,864	1,192

平成24年度介護支援専門員 試験対策セミナー

～試験対策セミナーを受講して目指せ合格！～

●参加対象

平成24年度介護支援専門員実務研修受講試験を受ける方
※基礎編・実践編とも受講可能な方

●会場

・沖縄県総合福祉センター ゆいホール
住所：那覇市首里石嶺町4-373-1

●受講料

25,000円(税込)受講料には、模擬試験代を含みます

●定員

160名 ※定員に達し次第締切ります

●セミナー内容

- ・介護支援分野【2日間】
7月15日(日)・16日(月)9:30～15:30
 - ・福祉サービス分野
7月28日(土)9:30～15:30
 - ・保健医療サービス分野
7月29日(日)9:30～15:30
 - ・実践編(模擬試験・解答解説)
9月10日(土)9:30～17:00
- ※詳しくは、以下の本会ホームページをご参照ください
<http://www.okishakyo.or.jp/jinzai/>

●お問合せ先

(福)沖縄県社会福祉協議会 福祉人材研修センター
☎098(882)5703(直通)

平成24年度介護支援専門員 実務研修受講試験 (ご案内)

【試験日】

10月28日(日)

【試験会場】

本島・宮古島市・石垣市

【受験申込受付期間】

6月11日(月)～7月13日(金)
※消印有効

【受験に要する費用】

8,900円(消費税込み)

【「受験の手引き」販売期間】

6月11日(月)～7月13日(金)
※「受験の手引き」の販売は月～金曜日
(土日/祝祭日/慰霊の日を除く)
9時～17時に行います。
価格：1冊 500円(消費税込み)
※「受験の手引き」とは、受験要綱・申込書が入っている冊子の事です。

【販売場所及びお問合せ先】

(福)沖縄県社会福祉協議会
福祉人材研修センター
☎098(882)5703(直通)

【お申込み・お問い合わせ】
県社協介護実習・普及センター
☎098(882)1484
FAX 098(882)1486

福祉用具のメーカーが：なんと?! 38社集結することが決定しました。7月6日(金)と7月7日(土)の2日間、沖縄県総合福祉センター東棟ゆいホールで約1000種類の福祉用具を展示し、結ブラザなどで電動車いすやセニアカーなどの試乗体験ができます。

ご家族・友人・お隣の方をお誘いの上ぜひ会場にお越しください。初めて目にする福祉用具や新商品が皆さんをお待ちしております。

また、専門従事者や一般県民の方々対象の研修も開催いたしますので参加・申込みの際は下記までご連絡をください。

今年も開催します♪
2012福祉機器展

緊急告知!

☆2012福祉機器展☆

研修会：7月7日(土)

- 午前の部(11:00～12:30)
「らくらく移乗編!」
～試してみよう福祉用具～
- 午後の部(14:00～15:30)
「誤嚥性肺炎の予防における口腔ケア」
～サイレントアスピレーション対策～
会場：東棟 403 研修室

研修会：7月6日(金)

- 午後の部(14:00～16:00)
「最新機器による、持ち上げない介助、腰痛予防対策について」
～ご利用者様にとって、
真のやさしさとは何か?～
会場：東棟 403 研修室

ソウェルクラブおきなわ 会員交流事業のご案内

ソウェルクラブおきなわ（福利厚生センターおきなわ事務局）では、福祉職員のリフレッシュや健康管理、資質の向上に向けて、今年も様々な会員交流事業を用意しました。例年要望の多い「映画鑑賞券」や劇団四季のファミリーミュージカル鑑賞券などを継続しつつ、昨年実施したアンケート結果を反映し、「ホテルランチ券」を新たにメニュー化しています。

この他、ソウェルクラブでは全国共通で利用できるサービス（健康診断費用助成金、結婚・出産等祝金、指定保養所等）を多数取り揃え、福祉職員の福利厚生を支援しています。

職員の確保・定着のためにソウェルクラブをぜひご入会ください。

ソウェルクラブ
おきなわ事務局

（県社協福祉人材研修センター）
098-882-5703



平成 24 年度ソウェルクラブおきなわ 会員交流事業計画

区分	事業名	期日・会場	概要等	助成内容等		募集数
旅行	東京ディズニーリゾート・ユニバーサルスタジオジャパンへの旅	7月下旬～10月末頃	夏・秋休みを利用して、ご家族で楽しめる旅行	会員10,000円、家族5,000円を助成	会員・家族 ※家族助成について会員1名につき2名まで	会員:10名 家族:10名
コンサート・ミュージカル等	ブラスト!	10月6日(土)・10月7日(日) 沖縄コンベンションセンター	待望の沖縄初公演! マーチングバンドやドラムのエンターテインメント性を高めた、視覚と聴覚を刺激する迫力のステージ	8,500円に対して約半額(4,000円)助成	会員1名2枚	60名
	木下大サーカス	12月1日～2月3日 豊崎タウン特設会場	奇跡のホワイティライオン 世界猛獣ショー・地上15m 決死の空中大車輪他	2400円に対して半額(1200円)助成	会員1名2枚	100名
	劇団四季ファミリーミュージカル「王様の耳はロバの耳」	3月3日(日) 沖縄コンベンションセンター	世界の名作が劇団四季のミュージカルで蘇る	S席4,000円に対して半額(2,000円)助成	会員1名2枚	100枚
スポーツ	プロ野球公式戦	6月26日(火)・27日(水) 沖縄セルラースタジアム那覇	プロ野球 横浜 VS ヤクルト戦のチケット	7種の座席チケットの約半額を助成	会員1名2枚	286枚
	バスケット 琉球ゴールデンキングス 共通チケット	10月～4月 26試合程度 県総合運動公園体育館他	バスケット bj リーグ 琉球ゴールデンキングス 共通チケット	割引価格1,500円に対し500円助成	会員1名2枚	721枚
チケット配布	★会食ランチ「ホテルランチ券」	7月1日～12月末	本島:ハーバービューホテル 宮古:宮古島東急リゾート 八重山:ANAインターコンチネンタル 石垣リゾートのランチ券への助成	2,000円分ランチ券に対し、半額(1,000円)助成	会員1名1枚	1,500枚
	図書カード	12月中旬配布	離島在住の会員に対して、図書カードの助成を行います。	2,000円カードに対し半額(1,000円)助成	会員1人1枚	500枚
	映画鑑賞券	12月中旬配布	休日等を利用して映画を楽しんでいただきます。	国映系共通映画券に対し510円助成	会員1人2枚	2,500枚
贈呈事業	入学祝金贈呈	6月下旬贈呈	離島在住の会員に対し、お子様の入学祝金を贈呈。	小中学校 5,000円 高校 20,000円	会員の家族	小中学生32名 高校生 7名

★ 会員満足度アンケートにて要望が多かったため、今年度より新たに実施
※ 事業によっては内容及び日程を変更する場合があります。

講習会	メンタルヘルス講習会	8月頃	職場におけるメンタルヘルスの取り組みを習得する講習会を開催。(本島・宮古・八重山の3地区)	参加費:無料	会員のみ	40名
	パソコン講習会	11月頃	エクセル・アクセス・ホームページ等を参加者のレベルに応じた講習会を開催。	参加費:無料	会員のみ	40名

シニアの創作活動を応援します

第4回沖縄ねりんピックかりゆし美術展作品募集

県社協では、今年も「沖縄ねりんピックかりゆし美術展」を開催するに当たり、出展作品を募集します。期間は7月2日から10月31日（土日祝日を除く）までで、絵画や彫刻、工芸など多くの作品の応募をお待ちしています。同美術展の優秀賞受賞作品は、来年高知県で開催される「第26回全国健康福祉祭こうち大会（ねりんピックよさこい高知2013）美術展」に沖縄県代表として出品します。

明るく活力ある長寿社会づくりに寄与することを目的に開催される同美術展は、今年で4回目となり、平成25年1月18日から27日（休館日を除く8日間）の間、沖縄県立博物館・美術館企画ギャラリーにおいて開催します。

募集に関するお問い合わせは、いきいき長寿センターまでご連絡ください。

【問い合わせ先】

県社協いきいき長寿センター
☎098(887)1344

かりゆし美術展

～シニアの創作活動を応援します～

募集期間 平成24年7月2日(月)▶10月31日(水) 必着

作品展示 平成25年1月18日(金)▶1月27日(日)
1月21日(月)・22日(火)は休館日です

入場無料

- ◆ 時間：午前10時～午後6時（会期中にギャラリートークを開催する予定です）
- ◆ 会場：沖縄県立博物館・美術館 企画ギャラリー1・2
- ◆ 主催：沖縄県、社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会
- ◆ 後援：沖縄県公民館連絡協議会
- ◆ 協賛：沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ放送、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄（順不同）



沖縄県知事賞 第3回受賞作品
工芸部門：乾漆椰子皮朱塗 花器

寄付・寄贈者芳名

4月～5月

企業や個人からの寄付・寄贈、慶弔返しの手財は、県社協社会福祉活動の貴重な財源となっています。ご協力いただき、誠にありがとうございます。

● 那覇市垣花奉頌会 様

寄贈品／車いす35台

● いけばなインスター

ナショナル沖縄支部 様

寄付金／5万円

● 沖縄県地域活動連絡協議会

みらい子育てネット 様

寄贈品／交通安全

マスコット200個

● 豊平信則 様

寄付金／5万円

● アクサ生命保険株式会社

沖縄支社 様

寄付金／1万9千円

● 眞喜志一寛 様

寄付金／10万円

株式会社琉球リースより寄付をいただきました

5月10日で創業40周年を迎えた(株)琉球リースより記念事業の一環として100万円を寄付いただきました。贈呈式で(株)琉球リースの比嘉朝松代表取締役社長は、「皆様に支えられてここまでやってきましたので、感謝の意を込めて地域貢献させていただきます」と挨拶しました。



(株)琉球リース寄付金贈呈式

表紙の絵

作品名「平和への祈り」



作成者 伊禮 初美氏

平和をテーマにした作品。黒墨だけでなく、淡い青墨などを使用し描いたこの水墨画は、心を和ませるように柔らかに表現されている。ここ数年「慰霊の日」に黙祷するだけでは物足りなさを感じた伊禮氏は、平和に対する思いを水墨画で表現しようと制作にあたり「心が解き放たれ、癒される」と語る伊禮氏は、かりゆし美術展を一つの楽しみにし、今年も出展する意欲を見せていた。

編集後記

読者に県社協の活動状況を理解していただけるよう寄付関係や決算報告の記事を工夫しています。